

## 令和3年度 第1回タウンミーティング

### 能美市婦人団体協議会とのタウンミーティング

日 時 令和3年7月16日（金）19時30分～20時50分

場 所 辰口福祉会館 多目的ホール

参加人数 37人

#### 1) 能美市婦人団体協議会会長 挨拶

#### 2) 市長 挨拶、市政報告

#### 3) 意見交換

(参加者)

提言1 東西連絡道路の歩道整備について

東西連絡道路は、国道8号線高堂出口から寺井図書館前を通り辰口方面に繋がったことで利便性が高くなり、毎日たくさんの方が利用している。しかし、湯野小学校近くのローソンから辰口に向かう区間は、路肩が狭い上に、両側に深い水路があり、車で通っても歩いてとても危険を感じる。特に夜間は歩行者が見えにくく、積雪の際は歩道が、より狭くなり困っている。

また、すぐ近くに湯野小学校があるが、安全に通行できないため、通学路としては指定されていないが、道沿いに住んでいる児童はやむを得ず通ることになる。

歩行者も車も、安全に安心して利用できるように、歩道設置等の対策をお願いします。

また、この道路が辰口へ突き抜けるという話も聞いているが、どのような計画になっているか、わかる範囲で結構なので教えていただきたい。

(市長)

ここは拡げる。この地点が危ないということは把握しており、県道であることから市としても県に要望している。ここを暗渠にすると約2メートルくらい拡がる予定をしているので、もうしばらく待っていただきたい。

それから、ここから東側のことに関しては、あとから別の質問のときにお答えをさせていただきます。

先月、千葉でも悲しい事故があった。今、教育委員会と一緒に、子供たちが通っている通学路を全部チェックし始めている。危ない箇所に関しては、できるだけ何らかの処置ができるようにも取り組んでいきたい。「こんなところが危ないよ。」とか、「こんなことがあったんだよ。」ということがあれば、お聞かせいただきたい。

(参加者)

提言2 寺井北交差点の看板と花壇の見直しを！

現在、女性会では環境ネットワーク事業の一環として年間を通してベゴニア・パンジー・葉牡丹等の植物の管理・植え替えを行っている。

その花壇の真ん中に案内看板が設置されているが、内容が古く現状に即していない。また、傷みも目立つ。

昨年度、新たに能美ふるさとミュージアムが近くにオープンし、市内の方は勿論、能美市を訪れる市外の方々の、目に留まる癒しの美しい花壇と、わかり易く自然に溶け込むような案内看板の設置をされてはどうか。例えば、花壇は荒れた木やコンポストも含めて一旦更地にし、円墳をイメージしたようなモニュメントを設置したらどうか。また、その周りに花壇を配置し、寺井校下女性会で管理を行っていききたい。

能美市のフォトスポットとしても活用される場所になればと思う。能美市が誇る、海や山、そして歴史、特に古墳群の紹介を見ることが出来る能美ふるさとミュージアムと桜、新緑、紅葉の四季折々の自然を満喫できる和田山に繋がるアイデアあふれる案内看板の設置と花壇の再整備をお願いします。

(市長)

市内には看板が色々あり、大小合わせて約2,500箇所ある。歴史民俗資料館、もう壊れてない。いまだに寺井駅になっている看板が辰口地区にある。能美根上インターチェンジなんか書いてない。ボロボロな看板案内だけじゃなくて、支柱も傷んでいるものが結構ある。これはなんとかせないかんといいことで、去年から市内にこんな看板が何箇所あるか、傷み具合がどうなのか、どんな表示がされているか、というのをチェックし始めて、これからどうしていこうかということ始めていきたいと思っている。

この看板というのは、その時代時代に応じて、いろんな特徴があったと思う。今は車にほとんどナビゲーションが付いているので、この看板を見ることは本当に少なくなった。それから、ナビゲーションがなくてもスマートフォン等々で道を検索する人も多いので、本当にこの看板を見る人がどれくらいいるんだろうなということもある。そんな観点から、今看板の見直しをしていこうとしている。

ただ、全部が無駄かという例えばそうでもなくて、能美市役所に目がけて来てた人が、「えっ、こんな近くに動物園があるんだ。」「あっ、こんな近くにはこんな施設があるんだ。」ということで、ナビゲーションの場合はその目的しか表示されないが、周りにこんな施設があるんだなということを知らせるものでもあるという思いをしていて、そんな色々な観点からも見直していく。

まず、この看板は撤去する。さっきいろんなご提案をいただいたが、見晴らしがよくない、交差点が複雑ということもあり、あまりこういうものを建てるとう事故の原因になるの

と、あそこはたくさん人が集まると交通事故の危険もあり、どっちかというとスッキリさせてもらいたいなと考えている。ただ、花壇をきれいにしていただけるようにブロックが少し傷んでるかなと思うので、みなさんが気持ちよく花を植えていただけるように、きれいにしたいなと思う。

(参加者)

提言3 健康ロードにかつての能美線の駅名標を

辰口から岩内まで散歩して健康ロードを歩くが、孫はここが昔、電車が走っていた事を知らない。地元の方でも意識している方は少ないのではないか。

図書館横の公園（のみ電広場）には能美線の電車が展示され、乗ることもできるし、かつての駅の写真を見ることもできる。健康ロードには桜が植えられ、管理されてはいるが、旧辰口町の中で駅名標が残っているのは灯台笹駅・徳久駅のみである。学生時代に電車で通学していた者にとっては何か物足りない気がする。

せっかく残っているこの道に、孫に語っていける能美線の思い出を、駅名標をかつての駅があった場所に設置し、生きた歴史を残してはいかがか。能美市へ合併する前の3町時代より、この電车道が東西で繋がっていたなんて素敵だと思う。能美市への『ふるさと愛』がもっともっと広がれば良いなと思う。

地元の歴史を歩きながら、現地現場で体感できるものがあるとより良いと思うが、いかがか。

(市長)

先ほど、6月の補正予算の話をしていただいた。13億6千万円、これは私の2期目に向かって、何をやりたいかというものが詰まった予算であり、まさにこの健康ロードの整備というのは私がやりたかった中核事業になるので、しっかり整備していく。

灯台笹や佐野、それから根上地区に入ると、看板があるような場所が何箇所もあり、電車も置いてある。一部ブルーミングロードということで、鈴木雄介選手などが練習をしていたコースの整備を行い、そこはさくらロードとも言われている。

ただ、桜の根っこが盛り上がってきて、危ないところが出てきている。通学路としても利用されているが、街灯がない箇所が何箇所もある。多くの方々が健康増進のために使っている道でもあるということで、これから整備をしていく。

いつに向かって整備をしていくかだが、2025年に向かって整備していく。これは長さが約16キロもあるため、一気に整備ができない。そして、2025年というのが、能美電ができてちょうど100年、廃線になって45年、能美市誕生20年を迎えるまさに記念すべき年が2025年で、そこに向かって、16キロを順次整備をしていく。

駅があったところに、駅名看板を復活させる。前の駅、次の駅も入れ、前の駅からこの駅まで何キロだったかということ、健康ロードだからキロ数も入れる。

また、この駅近くにどんな観光施設があるのか、どんな健康の道があるのか、という表示もしていく。ただ、看板の大きさが限られているため、QRコード等々を使ってやっていきたいと思う。そういった整備を4年間かけてやっていく。天狗橋から新寺井駅まで一本でつながっているということがわかるように、何かできないかと考えている。

三ツ口と火釜の間や、国道8号バイパス下の五間堂のところなど、何箇所か途切れてるところがあり、そこをどうつなぐのかということも確認していかなければならないと思っている。ご要望にお応えできるような整備をしていけると思うので、どうか期待をしていただければと思うし、こんなことをしたらどうだというアイデアがあれば、今の内に教えてほしい。

(参加者)

提言4 自然豊かで住み良いこの地にもっと人々の定住を

能美市は自然豊かで静かな環境なので子育てにとっても良い。金沢・小松方面への通勤に利便性が良いし、周辺に行楽地（動物園や公園）へ出かけるのにも最適な住環境である。

また近年、お洒落な可愛いお店も出店している。ただ、住環境はとても良いが、車があることで、子供が育ってくると通学等に多少不便さを感じる。

今までも今も、市は移住定住にご尽力いただいているが、今一度どの様な政策をされているのか。

そして、人との交流や繋がりが定住にとっても大切だが、そのコミュニティの起点となるものが、小さな町が集まる辰口地区にあればと思う。例えば、旧辰口フラワーセンター跡地にキッチンカーを呼んだり、古民家の再生利用で雑貨屋等を誘致したり、コミュニティセンター（CC館）の活用も良いと思う。野々市市にある「にぎわいの里ののいちカミーノ」のような施設はいかがか。

世代同士で魅力ある地になればと思う。自然豊かな辰口地区も移住定住に繋がるよう期待する。

(市長)

移住定住でどんなことをやっているかというのと、全ての施策を移住定住につなげようと取り組んでいる。

例えば、和佐谷橋という橋ですが、橋が傷んでくれば橋も直さなければならない。また、岩内金剛寺線ですが、町の中をたくさん車が通り危ないため、迂回路を作ってほしいということで道路を作らせていただいた。それから、災害からいかにしてみなさんを守っていくか、市民のみなさんの生命と財産を守ることが第一です。和気小学校のプールの脇のところも土砂が落ちる可能性があり、レッドゾーンと言われるところになっていたが、それを回避するために柵を作らせていただいて、イエローゾーンにした。

SDGsということで、子供たちにも能美市が住みやすいつてことをわかってもらえるよ

うな取り組みを行っている。また、リーフリッチのような新しいお店にも来てもらえるように様々な支援メニューを用意している。

能美市は、市民力や地域力がすごく高い町で、ひとりでは暮らせない、サポートがないと暮らしていけないということで、地域力強化支援ファンドを作り、例えばこども食堂をやられる場合に助成をする、お金を補充する。買い物弱者の方がいらっしゃる、そんな方がお困りだったら、その買い物の支援をするようなところに助成をする、お金をサポートする。外国人の方にも、生活を不自由なく暮らしていただけるようにサポートする、ということもやっている。障害をお持ちの方もたくさんいらっしゃるので、能美市では手話をたくさんの方にできるようにいろんな教室をやっている。

能美市に住んでいる人が住みやすいなと思ってもらえるように、能美市のことを自慢する、能美市のことをよく知ってもらい、ふるさと愛の醸成と言っていますが、広報のみにいろんな取り組みを書かせていただいて宣伝をすることが、移住定住の促進につながっているということで、ひとつのことをやるだけでなく多方面なことを何層にも何層にもやっていくということで、移住定住の促進につながっているということで取り組んでいる。

その中で、今能美市は企業誘致がすごく好調なのに、人口は減少しがちだということのひとつに、住む場所、家を建てる場所が少ないのではないかとということがあったため、金沢大学が持っている10ヘクタールの土地を市が取得する予定です。

提言1で、道路の話が出たが、このあたりが泉台で、ここが加賀産業道路です。この途中を使って、お尋ねのあったような道路をどこかこのあたりに通して利便性を高めて、移住定住の促進につなげていきたいと思っている。

高校生が学校に通うのが不便だという声も聞いている。その件に関しては、今バス会社との間で大変苦勞しており、バスの路線を減らそうというような、どちらかというところな方向になっている中で、いかにしてこの少ない需要のところに応えていけるかということで、何か新しい政策で取り組んでいきたいなということも考えているので、またいろいろと教えていただければと思う。

(参加者)

提言5 メール配信サービスについて

私たち市民の生活に関わる情報をメールなどで配信するサービスの導入をお願いしたい。

能美市では、一家に一台防災行政無線があるが、仕事などで家にいないこともあり、聞き逃すことがよくある。火災情報などは、近くなら消防車の音でわかると思うが、少し離れると全く分からない。仕事や外出先など、家にいなくてもリアルタイムでの火災情報、不審者情報、クマ情報や行方不明者のお知らせなどを配信していただけるととても助かる。今は、コロナの感染者数も気になるし、ホームページに掲載されている市長からのメッセージや防災無線放送内容など、市民のためになる情報を配信することはできないか。

小松市の場合、消防本部から、以前はEメールで配信されていたが、今はLINEで様々な情報が配信されている。火災と緊急防災情報以外は、受信設定から自分が受け取りたい情報のジャンルを選択できるようになっている。現在は、県内のコロナ感染者数と市内の感染者の情報が毎日配信されている。

また、白山市や津幡町でも同様なメール配信サービスが導入されている。市外の方でも、関係がある地区の情報配信があればほしいと思うものではないか。

ぜひ能美市でも、フェイスブックの能美 style と並べて、メール配信サービスを導入していただけないか。

(市長)

先ほど言い忘れたが、旧辰口フラワーセンター、ここは道の駅機能を持ったものに変えていく。ちょっといろいろなことがあったため時間はかかるが、動物園があり丘陵公園があるので、ここはキッチンカーも来てもらえるような場所に生まれ変わる。

今の話に戻るが、すでにやり始めている。危機管理DXと呼んでいる。防災行政無線は、だいたい茶の間のところに置いてあるが、聞き漏らすこともある。それから、外に出ると全く聞こえない、たくさんのことを言うと全部理解してもらえないというようなこともあり、この防災行政無線はなんとかせなにかんという思いである。

まずはLINE化させていく。防災行政無線というのは、市からのお知らせだけではなく、それぞれの町、町内からの会長さんが必要な情報を流されたり、町会町内会でおくやみの情報を流されてるところもあろうかと思う。市だけから流すのではなくて、町会町内会からも流せるようにし、回覧板の機能も持たせられないかなということをやろうとしている。それはLINEだけじゃなくて、据付けていただいている防災行政無線を新しいものにし、文字でも流せるようにダブルで取り組む。

もうひとつは、屋外スピーカーを変える。これは聞こえないところが多く、何を言ってるかわからないところが多いので、スピーカーを新しいものに変える。最近のスピーカーは、近くの人には適度に聞こえて、遠いところはちゃんと聞こえるようになっている。市内の中で防災行政無線がうまく届かない場所もまだ何箇所もあり、それを改善していくのと、聞こえないところをなくしていく。

ただ、これめちゃくちゃお金がかかるのと、めちゃくちゃ時間がかかるので、令和5年度までかけて順番にやっていく。たぶんご期待に添えるものが完成できると思うし、もしこんな機能を持たせればとか、こんな情報が欲しいなというようなことがあれば、おっしゃっていただければと思う。

デジタル化というのはさっきいろんな話しましたが、能美市ってこうクリックしたら、能美市の情報が一面で見られるような画面を今作ろうとしている。そうするとこういった情報が取れる、例えばボタンがあったり、バスロケーションがあったり、ゴミ出しアプリってみなさんご存じですか。「分別ごみは何月何曜日ですよ。」とか、「今度こんなゴミの日ですよ。」ということの案内ができるそんなアプリが、実は出来ている。また、さっきの健

康のアプリや、能美市の大図鑑というのがあり、能美市の飲食店を紹介できるそんなサイトもある。そんなのがスマートフォンの一面で全部並んでいて、ポッとクリックすると、必要な情報が取り出せるようなものの完成を目指して今取り組んでいるので、もしこんな情報を知りたいんで何かワンクリックでできるようになればいいなというようなことがあれば言ってほしい。

(参加者)

その他提言 1

来年度の成人式について、婦人会というと貸衣装事業もやっている。18歳での成人年齢とかいろいろあるかと思うが、今までどおり1月に20歳の成人式という風に執り行っていただければなと思うが、そのあたりをお聞かせいただきたい。

(市長)

今からいろんな方のご意見をお聞きしながら、しっかりと判断をしていきたいと思う。いろんな方のご意見をお伺いするということと、もうひとつは日本全体の流れです。今のところ他の自治体は、このまま20歳のときに成人式をするという方向が強いようなので、能美市としてもいろんな方のご意見をお聞きしながら、早い時期に判断して皆様方にお示しをしたいなと思っている。

#### 4) 能美市婦人団体協議会会長

先日、能美市の観光事業について、みなさんとお話しする機会があり、話ししていく中で、辰口地区は動物園や丘陵公園、ゆずとか市内外の方に自慢できるようなものがある。寺井地区は能美ふるさとミュージアムや古墳群も整備されて、昨年提言したそのまま車を入れるようなバーベキュー場ができることは、本当に嬉しいと思える反面、根上地区は先ほど道林のところの整備や、パーク場の整備とかに今予算を付けていただいております、どのような開発がされるのか楽しみではある。ただ、やはり能美市は海・山・川があり、自然環境が豊かなところで、海から山が揃っているのが能美市の自然かなと思うので、もう少し根上の方で自慢できる場所とか、市内外の方を集客できる場所を、また期待しているので、今後の課題として、また来年良い返事を聞かせていただけることを楽しみにしている。

#### 5) 教育長 挨拶

#### 6) 閉会